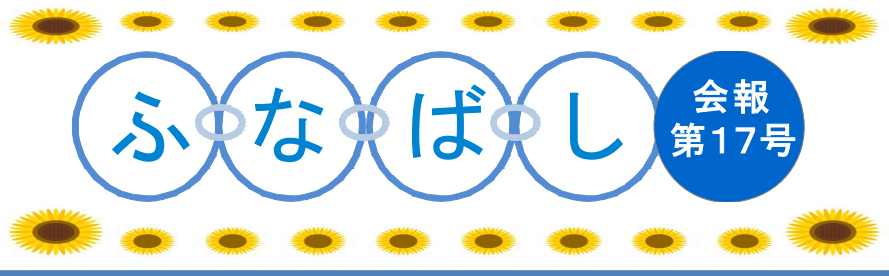


船橋支部会報

8. 7

立教181年
2018年・平成30年

船橋支部長：茂木聖仁



発行/天理教船橋支部 編集/広報部会報係
E-Mail/korin29yoshi3@gmail.com



「手引き」

山田 康弘



私は母親からの信仰で、二代目になります。しかし、母親の熱心な信仰への勧めにもかかわらず、私は母親の言葉に耳をかさず、むしろ父親と共に信仰に反対してました。

ところが、高校二年の夏、ちょっとした風邪から体調を崩し、食事がまともに受け付けられなくなり、食べては戻すを繰り返すようになりました。それでも医者を変えたりしながら頑張ってきましたが、大学二年の夏、とうとう寝たきりになってしまいました。その時に母親から「駄目で元々なんだから、試しに一回だけ教会に行ってみない？」という言葉に、藁をもすがる思いで教会へ初参拝となりました。すると、参拝した日の夜の食事が気持ちよく受け付けてくれて、戻すことがなかったのです。四年間の苦しみの中でしたので、とても驚きました。次の日の朝も気持ちよく食事ができて戻さなくなったので、母親からまた教会へと誘われましたが、もう充分と断りました。すると、その日の夜、また病状が逆戻りしてしまい、又教会へ参拝をするということになり、参拝した日は調子が良くて、もう参拝しないと思うとまた逆戻りを繰り返す中に、自分自身で神様を自覚できるようになりました。そして、その月におちばへ初参拝をさせていただくと、四年間おかゆを食べていた私が何でも食べさせていただけるご守護を頂きました。その時の感激が今の自分につながっています。日々色々ありますが、この信仰の元一日を忘れず、今が当たり前ではないことを心に刻み、何でも感謝できるように勤めていきたいと思えます。

船橋支部の情報をあなたの
携帯電話にメールでお届けします。
こちらのQRコードから登録ください。

